

クラウン・パッケージ 埼玉・飯能に新工場



埼玉事業所の外観イメージ。関東で3番目の生産工場になる

0056㎡。約70億円を投資した。国内7番目の段ボール製造工場で、東京事業所（千葉県野田市）、神奈川県伊勢原市）とともに関東圏全域をカバーする。

が常駐し、商品のPRや販売促進、コストの削減、店舗オペレーションの効率化など各種ソリューションを提供する。関東北部・西部における営業活動を強化し、「得意先が集中する関東圏での供給体制を整える」（佐光恵蔵社長）ことが狙いだ。生産工場と顧客が近づくことで、今まで以上にきめ細やかな訪問

クラウン・パッケージは関東エリアでの供給能力を増強するため、今年度中に埼玉県飯能市に新工場「埼玉事業所」を立ち上げる。生産品目は、極薄段ボール「マイクロフールト」やギフト用美粧パッケージなど。主力工場の一つと位置付け、取引先との連携や開発スピードを強化する。

新工場の敷地面積は3万4506㎡。延べ床面積は1階が1万6788㎡、2階が1万

や打ち合わせが可能になり、納期が短縮されるなどのメリットが期待できる。

埼玉事業所では以前から課題であった複雑な導線を改善するため、機械設備のレイアウトを工夫することで製造・物流の最適化を図った。ボイラーは都市ガスを使用し、環境にも配慮した。

（涌井実）